

「健康日本21」中間評価報告書

平成19年4月10日

厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会

11 健康日本21中間評価実績値と今後の課題一覧



代表目標項目



新規目標項目

分野	目標項目(指標の目標)	対象	2011年実績値(または参考値)	中間評価実績値	目標値	今後取り組むべき課題
1 栄養・食生活	1.1 適正体重を維持している人の増加(肥満者等の割合)	a) 児童・生徒の肥満児	10.7%	10.2%	7%以下	① 健診後の栄養指導の充実 ② 「食事バランスガイド」の普及啓発や食環境整備の推進(産業界との連携の推進) ③ 食育と運動した国民運動の推進 ④ 行政における管理栄養士の配置などの体制整備
		b) 20歳代女性のやせの者	23.3%	21.4%	15%以下	
		c) 20~60歳代男性の肥満者	24.3%	29.0%	15%以下	
		d) 40~60歳代女性の肥満者	25.2%	24.6%	20%以下	
	1.2 脂肪エネルギー比率の減少(1日当たりの平均摂取比率)	a) 20~40歳代	27.1%/日	26.7%/日	25%以下	
	1.3 食塩摂取量の減少(1日当たりの平均摂取量)	a) 成人	13.5g/日	11.2g/日	10g未満	
	1.4 野菜の摂取量の増加(1日当たりの平均摂取量)	a) 成人	292g/日	267g/日**	350g以上	
	1.5 カルシウムに含む食品の摂取量の増加(成人)(1日当たりの平均摂取量)	a) 牛乳・乳製品	107g/日	101g/日**	130g以上	
		b) 豆類	76g/日	65g/日**	100g以上	
		c) 緑黄色野菜	98g/日	89g/日**	120g以上	
	1.6 自分の適正体重を認識し、体重コントロールを実践する人の増加(実践する人の割合)	a) 男性(15歳以上)	62.6%	60.2%	90%以上	
		b) 女性(15歳以上)	80.1%	70.3%	90%以上	
	1.7 朝食を欠食する人の減少(欠食する人の割合)	a) 中学、高校生	6.0%	6.2%	0%	
		b) 男性(20歳代)	32.9%	34.3%	15%以下	
		c) 男性(30歳代)	20.5%	25.9%	15%以下	
1.8 量、質ともに、きちんとした食事をする人の増加	a) 成人	56.3%*	61.0%	70%以上		
1.9 外食や食品を購入する時に栄養成分表示を参考にする人の増加(参考にする人の割合)	a) 男性(20~69歳)	20.1%	18.0%	30%以上		
	b) 女性(20~69歳)	41.0%	40.4%	55%以上		
1.10 自分の適正体重を維持することができる食事量を理解している人の増加(理解している人の割合)	a) 成人男性	65.6%*	69.1%	80%以上		
	b) 成人女性	73.0%*	75.0%	80%以上		
1.11 自分の食生活に問題があると思う人のうち、食生活の改善意欲のある人の増加(改善意欲のある人の割合)	a) 成人男性	55.6%	59.1%	80%以上		
	b) 成人女性	67.7%	67.3%	80%以上		
1.12 ヘルシーメニューの提供の増加と利用の促進(提供数、利用する人の割合) <small>飲食店、食品売り場及び職場の給食施設、食家等で、バランスのとれたメニューを提供していると思う割合</small>	a) 男性(20~59歳)	34.4%	—	50%以上		
	b) 女性(20~59歳)	43.0%	—	50%以上		
1.13 学習の場の増加と参加の促進(学習の場の数、学習に参加する人の割合) <small>地域や職場に、健康や栄養に関する学習や活動を行う自主的な集まりがあると答えた人の割合</small>	a) 男性(20歳以上)	6.1%	7.4%	10%以上		
	b) 女性(20歳以上)	14.7%	15.3%	30%以上		
1.14 学習や活動の自主グループの増加(自主グループの数) <small>地域や職場に、健康や栄養に関する学習や活動を行う自主的な集まりがあり、現在あるいは過去1年間に参加経験がある者の割合</small>	a) 男性(20歳以上)	2.4%	3.5%	5%以上		
	b) 女性(20歳以上)	7.8%	7.4%	15%以上		
1.15 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)を認知している国民の割合の増加(メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)を知っている人の増加)	a) 全国平均(20歳以上)	—	—	80%以上		
2 身体活動・運動	成人(20歳以上)					① 健診後の運動指導の充実 ② 「エクササイズガイド2006」の普及啓発 ③ 指導者の育成の促進 ④ 環境整備
	2.1 意識的に運動を心がけている人の増加(意識的に運動をしている人の割合)	a) 男性	51.8%	54.2%*	63%以上	
		b) 女性	53.1%	55.5%*	63%以上	
	2.2 日常生活における歩数の増加(日常生活における歩数)	a) 男性	8,202歩	7,532歩	9,200歩以上	
		b) 女性	7,282歩	6,446歩	8,300歩以上	
	2.3 運動習慣者の増加(運動習慣者の割合)	a) 男性	28.6%	30.9%	39%以上	
		b) 女性	24.6%	25.8%	35%以上	
	高齢者					
	2.4 外出について積極的な態度をもつ人の増加(運動習慣者の割合)	a) 男性(60歳以上)	59.8%	51.8%*	70%以上	
		b) 女性(60歳以上)	59.0%	51.4%*	70%以上	
c) 全体(80歳以上)		46.3%	38.7%*	56%以上		
2.5 何らかの地域活動を実施している者の増加(地域活動を実施している人)	a) 男性(60歳以上)	48.3%	66.0%*	58%以上		
	b) 女性(60歳以上)	39.7%	61.0%*	50%以上		
2.6 日常生活における歩数の増加(日常生活の歩数)	a) 男性(70歳以上)	5,436歩	5,386歩	6,700歩以上		
	b) 女性(70歳以上)	4,604歩	3,917歩	5,900歩以上		

分類	目標項目(推進の目安)	対象	現在値(参考値)	中間実績値等	目標値	※取り組むべき課題	
2 身体活動・運動	2.7 安全に歩行可能な高齢者の増加	開眼片脚起立時間20秒以上に該当する者の増加					
		a) 男性(65~74歳)	68.1%	—	80%以上		
		b) 男性(75歳以上)	38.9%	—	60%以上		
		c) 女性(65~74歳)	62.4%	—	75%以上		
2.8	メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)を認知している国民の割合の増加(メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)を知っている人の増加)	1.15 栄養・食生活参照					
3 健康・生活習慣	3.1 ストレスを感じた人の減少(ストレスを感じた人の割合)	a) 全国平均	54.6%	62.2%*	49%以下	① 自殺対策の推進 ② 自殺対策に関する研究の推進 ③ 睡眠に関する知識の普及啓発	
	3.2 睡眠による休養を十分にとれていない人の減少(とれない人の割合)	a) 全国平均	23.1%	21.2%*	21%以下		
	3.3 睡眠の確保のために睡眠補助品やアルコールを使うことのある人の減少(睡眠補助食品等を使用する人の割合)	a) 全国平均	14.1%	17.6%*	13%以下		
	3.4 自殺者の減少	a) 全国数	31,755人	30,539人	22,000人以下		
4 たばこ	4.1 喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及(知っている人の割合)	a) 肺がん	84.5%	87.5%*	100%	① 新規喫煙者増加の防止 ② 受動喫煙の防止 ③ 禁煙指導の充実 ④ さらなる対策の充実	
		b) 喘息	59.9%	63.4%*	100%		
		c) 気管支炎	65.5%	65.6%*	100%		
		d) 心臓病	40.5%	45.8%*	100%		
		e) 脳卒中	35.1%	43.6%*	100%		
		f) 潰瘍	34.1%	33.5%*	100%		
		g) 妊娠に関連した異常	79.6%	83.2%*	100%		
		h) 歯周病	27.3%	35.9%*	100%		
	4.2 未成年者の喫煙をなくす(喫煙している人の割合)	a) 男性(中学1年)	7.5%	3.2%	0%		
		b) 男性(高校3年)	38.9%	21.7%	0%		
		c) 女性(中学1年)	3.8%	2.4%	0%		
		d) 女性(高校3年)	15.6%	9.7%	0%		
	4.3 公共の場及び職場における分煙の徹底及び効果の高い分煙に関する知識の普及	(分煙を実施している割合)					
a) 公共の場							
都道府県		89.4%	100%	100%			
政令市等	95.9%	100%	100%				
市町村	50.7%	89.7%	100%				
保健所	95.5%	100%	100%				
b) 職場	40.3%	55.9%	100%				
(知っている人の割合)							
c) 効果の高い分煙に関する知識の普及	—	男性 77.4% 女性 79.0%	100%				
4.4 禁煙支援プログラムの普及(禁煙支援プログラムが提供されている市町村の割合)	a) 全国	32.9%	39.7%	100%			
4.5 喫煙をやめたい人がやめる(①喫煙率、②禁煙希望者の割合)	a) 男性	(参考値①) 43.3%	(参考値②) 24.6%	—			
	b) 女性	(参考値①) 12.0%	(参考値②) 32.7%	—			
5 アルコール	5.1 多量に飲酒する人の減少(多量に飲酒する人の減少)	a) 男性	4.1%	5.4%*	3.2%以下	① 多量に飲酒をする者の割合の2割削減 ② 未成年者の飲酒者をゼロにする	
		b) 女性	0.3%	0.7%*	0.2%以下		
	5.2 未成年者の飲酒をなくす(飲酒している人の割合)	a) 男性(中学3年)	26.0%	16.7%	0%		
		b) 男性(高校3年)	53.1%	38.4%	0%		
		c) 女性(中学3年)	16.9%	14.7%	0%		
		d) 女性(高校3年)	36.1%	32.0%	0%		
5.3 「節度ある適度な飲酒」の知識の普及(知っている人の割合)	a) 男性	50.3%	48.6%	100%			
	b) 女性	47.3%	49.7%	100%			

分野	目標項目(指標の目安)	対象	現在値 (または参考値)	中間実績値	目標値	今後取り組むべき課題	
歯の健康	幼児期のう蝕予防						① 幼児期及び学齢期のう蝕予防 ② 成人期の歯周病予防 ③ 喫煙の及ぼす健康影響の知識の普及 ④ 8020運動の推進の強化
	6.1	う蝕のない幼児の増加 (う蝕のない幼児の割合-3歳)	a) 全国平均	59.5%	68.7%	80%以上	
	6.2	フッ化物歯面塗布を受けたことのある幼児の増加 (を受けたことのある幼児の割合-3歳)	a) 全国平均	39.6%	37.8%	50%以上	
	6.3	間食として甘味食品・飲料を頻回飲食する習慣のある幼児の減少 (習慣のある幼児の割合-1歳6ヶ月児)	a) 全国平均	29.9% (参考値)	22.6%	15%以下	
	6.4	一人平均う蝕数の減少 (1人平均う蝕数-12歳)	a) 全国平均	2.9歯	1.9歯	1歯以下	
	6.5	フッ化物配合歯磨剤の使用の増加 (児童のフッ化物配合歯磨剤使用率)	a) 全国平均	45.6% (参考値)	52.5%	90%以上	
	6.6	個別的な歯口清掃指導を受ける人の増加 (過去1年に受けたことのある人の割合)	a) 全国平均	12.8% (参考値)	16.5%	30%以上	
	6	成人期の歯周病予防					
	6.7	進行した歯周炎の減少 (有する人の数)	a) 40歳 b) 50歳	32.0% (参考値) 46.9% (参考値)	26.6% 42.2%	22%以下 33%以下	
	6.8	歯間部清掃用器具の使用の増加 (使用する人の割合)	a) 40歳(35~44歳) b) 50歳(45~54歳)	19.3% 17.8%	39.0% 40.8%	50%以上 50%以上	
6.9	喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及 4.1 たばこ参照						
6.10	禁煙支援プログラムの普及 4.4 たばこ参照						
7 糖尿病	歯の喪失防止						
	6.11	80歳で20歯以上、60歳で24歯以上の自分の歯を有する人の増加 (自分の歯を有する人の割合)	a) 80歳(75~84歳)20歯以上 b) 60歳(55~64歳)24歯以上	11.5% 44.1%	25.0% 60.2%	20%以上 50%以上	
	6.12	定期的な歯石除去や歯面清掃を受ける人の増加 (過去1年間に受けた人の割合)	a) 60歳(55~64歳)	(参考値) 15.9%	43.2%	30%以上	
	6.13	定期的な歯科検診の受診者の増加 (過去1年間に受けた人の割合)	a) 60歳(55~64歳)	16.4%	35.7%	30%以上	
	7.1	成人の肥満者の減少	1.1 栄養・食生活参照				
	7.2	日常生活における歩数の増加	2.2 身体活動・運動参照				
	7.3	質・量ともにバランスのとれた食事	1.8 栄養・食生活参照				
7.4	糖尿病検診の受診の促進 (受けている人の数)	a) 健康診断受診者	4,673万人	(参考値) 5,850万人*	6,860万人以上		
7.5	糖尿病検診受診後の事後指導の推進 (糖尿病検診における異常所見者の事後指導受診率)	a) 男性 b) 女性	66.7% 74.6%	74.2% 75.0%	100% 100%		
7.6	糖尿病有病者の増加の抑制 (推定値)	a) 糖尿病有病者数	680万人	740万人	1,000万人		
7.7	糖尿病有病者の治療の継続 (治療継続している人の割合)	a) 糖尿病有病者の治療継続率	45.0%	50.6%	100%		
7.8	糖尿病合併症の減少	(合併症を発生した人の数) a) 糖尿病性腎症 (糖尿病性腎症によって新規に人工透析導入となった患者) (合併症を有する人の数) b) 失明 (糖尿病性網膜症による視覚障害)	10,729人 約3,000人 (参考値)	(参考値) 13,920人 調査中	11,700人 -		
7.9	メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)を認知している国民の割合の増加	1.15 栄養・食生活参照					
7.10	メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者・予備群の減少	メタボリックシンドロームの該当者・予備群の人数(男性) メタボリックシンドロームの該当者・予備群の人数(女性)	1,400万人 (参考値) 560万人 (参考値)	- -	10/25%以上の減少 (平成24/27年) (対平成20年) 10/25%以上の減少 (平成24/27年) (対平成20年)		
7.11	メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の概念を導入した健診・保健指導の受診者数の向上	(特定健康診査の実施率) a) 健診実施率 (特定保健指導の実施率) b) 保健指導実施率	- -	- -	70/80% (平成24/27年) 45/60% (平成24/27年)		

分野	目標項目(推進の目的)	対象	ベースライン値(平成18年)	中間実績値等	目標値	今後取り組むべき課題	
8 循環器病	8.1 食塩摂取量の減少	1. 3 栄養・食生活参照					① メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した健診・保健指導の徹底 ② 一次予防の充実 ③ 研究の推進
	8.2 カリウム摂取量の増加	a) 成人	2. 5g/日	2. 4g/日**	3. 5g以上		
	8.3 成人の肥満者の減少	1. 1 栄養・食生活参照					
	8.4 運動習慣者の増加	2. 3 身体活動・運動参照					
	8.5 高血圧の改善(推計)	(参考値)平均最大血圧	男性 132. 7mmHg 女性 126. 2mmHg	男性131. 6mmHg 女性125. 0mmHg	↑		
	8.6 たばこ対策の充実	4. たばこ参照					
	8.7 高脂血症の減少(高血圧症の人の割合)	a) 男性	10. 5%	12. 1%	5. 2%以下		
		b) 女性	17. 4%	17. 8%	8. 7%以下		
	8.8 糖尿病有病者の減少	7. 6 糖尿病参照					
	8.9 飲酒対策の充実	5. アルコール参照					
8.10 健康診断を受ける人の増加(受けている人の数)	a) 検診受診者の数	4, 573万人	(参考値) 5, 850万人*	6, 880万人以上			
8 循環器病	生活習慣の改善等による循環器病の減少(推計)						
	脳卒中死亡率(人口10万対)	全体	110. 0	102. 3	↑		
		男性	106. 9	99. 9	↑		
		女性	113. 1	104. 5	↑		
	脳卒中死亡数	全体	13万7, 819人	12万9, 055人	↑		
		男性	6万5, 529人	6万1, 547人	↑		
		女性	7万2, 290人	6万7, 508人	↑		
	虚血性心疾患死亡率(人口10万対)	全体	57. 2	56. 5	↑		
		男性	62. 9	63. 4	↑		
	虚血性心疾患死亡数	全体	7万1, 678人	7万1, 285人	↑		
男性		3万8, 566人	3万9, 014人	↑			
女性		3万3, 112人	3万2, 271人	↑			
8.12 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)を認知している国民の割合の増加	1. 15 栄養・食生活参照						
8.13 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者・予備群の減少	7. 10 糖尿病参照						
8.14 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の概念を導入した健診・保健指導の受診者数の向上	7. 11 糖尿病参照						
9 がん	9.1 たばこ対策の充実	4. たばこ参照					① がん検診の推進 ② 一次予防の徹底 ③ 第3次対がん総合戦略研究等の推進
	9.2 食塩摂取量の減少	1. 3 栄養・食生活参照					
	9.3 野菜の摂取量の増加	1. 4 栄養・食生活参照					
	9.4 1日の食事において、果物類を摂取している者の増加(摂取している人の割合)	a) 成人	29. 3%	63. 5%	60%以上		
	9.5 脂肪エネルギー比率の減少	1. 2 栄養・食生活参照					
	9.6 飲酒対策の充実	5. アルコール参照					
	9.10 がん検診の受診者の増加(検診受診者数)	a) 胃がん	(参考値) 1, 401万人	1, 777万人*	2, 100万人以上		
b) 子宮がん		(参考値) 1, 241万人	1, 056万人*	1, 860万人以上			
c) 乳がん		(参考値) 1, 064万人	842万人*	1, 600万人以上			
d) 肺がん		(参考値) 1, 023万人	1, 100万人*	1, 540万人以上			
e) 大腸がん		(参考値) 1, 231万人	1, 432万人*	1, 850万人以上			

注)

中間実績値等は平成18年8月迄に公表されている数値である。

* の中間実績値等は、策定時のベースライン値を把握した調査と中間実績値等を把握した調査とが異なっている数値。

** の中間実績値等は、食品成分表の改訂にともなった重量変化率の換算が必要な